

喜界町



# 議会だより

189号

令和4年11月1日発行



小学校運動会

主  
な  
内  
容

令和3年度 一般会計決算審査認定 .....	2
決算審査の主な事業 .....	3
常任委員会報告 .....	4
一般質問に5名が登壇 .....	6
条例案件報告・議会のうごき .....	11
読者の声・編集後記 .....	12



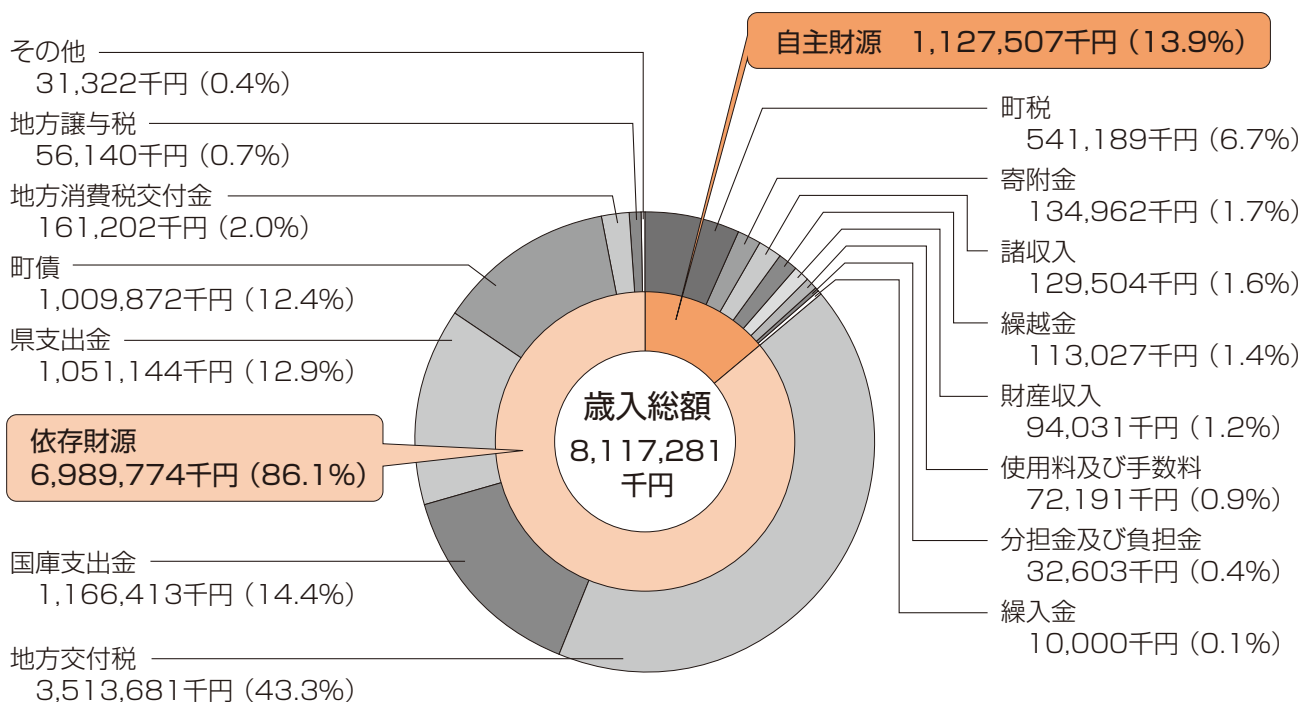
発行/喜界町議会 編集/議会広報委員会  
 〒891-6292 鹿児島県大島郡喜界町湾1746番地  
 TEL:0997(65)1115・FAX兼用

令和4年第3回定例会は、9月1日開会し9月15日まで15日間の会期で開かれた。9月1日は一般質問があり5名が登壇。また承認1件を承認、報告4件があり、議案7件を各常任委員会へ、認定7件を決算審査特別委員会へ付託した。9月15日の最終本会議では、各常任委員会、決算審査特別委員会の委員長から報告があり、議案7件を可決、認定7件を認定、追加議案の工事請負契約2件を可決した。

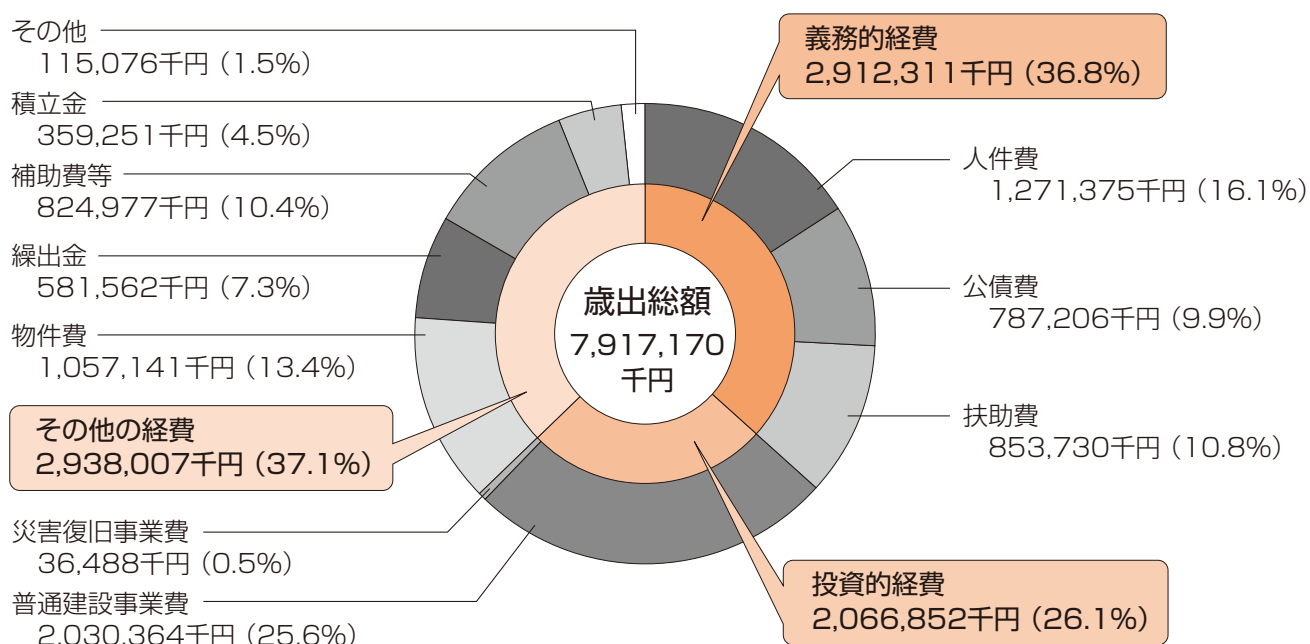
## “依存財源86.1% 前年より0.9%増”

### 令和3年度喜界町一般会計の決算審査認定

#### ◆ 歳入項目別決算額



#### ◆ 歳出項目別決算額



# 決算審査の主な事業

## ● 決算審査特別委員会報告 (委員長: 安田 英次郎)

担当課	事業名	内容説明	決算額
総務課 (消防分署)	常備消防費	火災・救急等の活動体制の強化や教育研修を実施した ①体制(消防職員15名うち救急救命士7名、潜水士9名) ②出勤(火災5件、救急341件、捜索1件)	185,614千円
	土地購入費	食育防災センター隣の畑購入	6,298千円
	喜界町ふるさと基金費	喜界町ふるさと寄付基金積立金	26,910千円
	交通安全対策費	原材料費(物件費)ロードミラー	788千円
企画課	商工業振興事業費	新型コロナウイルス感染症の影響を受けている事業者へ、商工会、行政書士と連携を図り各種事業を実施し地域経済の下支えを図った	19,441千円
	観光費	体験型メニューの充実を図り、看板等既存観光資源の整備やサンゴ礁科学研究所の支援、地形を活かしたe-サイクル(電動自転車)導入など新たな観光コンテンツ(情報)の作成を行った	47,649千円
	ジオパーク推進事業	広報にコラム掲載や、小学生向けパンフレット作成を行った	6,488千円
	日本で最も美しい村連合関連事業	「日本で最も美しい村」連合負担金	617千円
	移住促進事業費	空き家改修補助金(5件分)	4,251千円
	条件不利性改善事業	航路・航空路運賃軽減事業負担金 加工品輸送コスト支援補助金	19,563千円 11,548千円
町民税務課	住民生活費	シルバー人材センター運営補助金(5年間同額)	3,700千円
	海岸漂着物地域対策推進費	海岸漂着物委託料 軽石及び廃プラスチックの回収をシルバー人材センターと建設業者に委託	14,532千円
まちづくり課	道路新設改良費	中里前満盛線(ふくり前)の整備を行った。今後は環境と調和した良好な道路景観づくりにも努める	145,530千円
	水環境総務費	浄化槽設置整備補助金 浄化槽(5人槽)7基 宅内配管 2基	398,189千円
教育委員会	地方創生関連事業費	小中高の各種検定等の費用助成や国立大学校へ進学された方へ支援金の支給を行った(四年制大6名、二年制大1名)など	4,024千円
	小・中学校費	①入学祝金の支給を継続して実施 ②各学校に一人1台のタブレット端末の整備を行った ③中高合同職員会議を開催し授業のみならず部活動の交流も図った	91,395千円
	旧学校管理費	主に旧第二中学校・旧坂嶺小学校の草刈り等	2,348千円
	給食施設費	賄い材料費、野菜(島外17%島内1%)肉、魚、缶詰、乾物、調味料等(島外46%島内1%)など	37,796千円
保健福祉課	保健福祉総務費	国民健康保険特定健康診査に関する集落報奨金。令和3年度は21集落へ。報奨金額は定額ではなく、受診率により8千円～200千円(令和2年度は16集落へ387千円支給)	490千円
	高齢者福祉費	長寿祝金85歳以上の方126名へ (令和2年度は151名)	3,750千円
	子ども医療費助成事業費	平成27年度より実施。18歳に達する日以後最初の3月31日まで。課税世帯は月額3千円を超えた額。非課税世帯は全額助成。対象者875人、助成延件数1,171件	5,375千円
	児童福祉総務費	令和3年度より始まった出産祝金。24世帯へ紙おむつ代を含めて支給	7,225千円
農業振興課	農業委員会事務局費	遊休農地解消対策事業助成金(7人に助成) 面積(18.722a)	521千円
	糖業振興費	農業共済等加入促進事業補助金 30万円×10人に補助(ミニトラクター)	3,000千円
	鳥獣防止対策事業費	有害鳥獣買い上げ金 シカ駆除件数(成獣69頭) (幼獣1頭) カラス駆除件数(780羽)など	7,261千円
	農地・農業用災害復旧費	島全体の農道、農地の排水路復旧工事	36,170千円

●決算審査特別委員会報告（委員長：安田 英次郎）

“畜産業 新規就農者支援実施”

令和4年度 補正予算の主なもの

●総務文教常任委員会報告（委員長：生駒 弘）

担当課	事業名	内容説明	予算額
総務課	(歳入)地方特例交付金	交付額確定による個人住民税減収補てん特例交付金	776千円
	(歳入)財産調整基金繰入金	一般財源の財政調整基金繰入金	21,147千円
	(歳入)公共施設整備基金繰入金	公共施設整備基金繰入金(新設)	40,554千円
	(歳入)繰越金	前年度繰越金	41,917千円
	情報無線施設管理費	防災・行政無線屋外アンテナ100本分(1,200千円)及び個別受信機修繕料(300千円)	1,500千円
	喜界町光ブロードバンド管理費	修繕料(維持補修費)県事業不足分	823千円
	新型コロナウイルス感染症対策費	空港・港における検温作業等業務委託料(下半期分)	1,892千円
	防災災害対策費(委託料)	①阿伝、嘉鈍に津波等の「一時避難場所」看板設置 ②高低差があり、一時避難可能な箇所に「海拔表示」設置(既存設置5箇所、設置困難箇所は路面シートで5箇所)	1,270千円
企画観光課	(歳入)総務費県補助金	移住促進住宅改修助成モデル事業補助金	927千円
	移住促進事業費	旧島中教員住宅を改修し、「お試し移住体験」施設にする改修工事費(2,783千円)。当初3件予定していたが追加4件分の空き家改修補助金(3,200千円)	5,983千円
	加工販売施設運営費	農産物加工センターの実設計委託料	2,700千円
	観光費	施設改修工事費。ガーデンゴルフ場支柱、及びハワイビーチ進入路改修費	25,290千円
町民税務課	(歳入)戸籍住民基本台帳費	個人番号カード交付事業補助金。8月末現在の申請率36.9%	80千円
	火葬場費	火葬場のベンチ等修繕費	184千円
教育委員会	(歳入)教育費委託金	埋蔵文化財発掘調査委託金	7,020千円
	公民館費	中央公民館新館玄関横スロープに手すり設置と身障者用駐車場マークの整備費用	1,160千円
	図書館費	身障者用駐車場整備及び正面玄関スロープの手すり設置、タイルの滑り止め塗装。郷土資料室空調修繕	1,242千円

## ●産業福祉常任委員会報告（委員長：野間 弘也）

担当課	事業名	内容説明	予算額	
農業振興課	喜界町雇用型自立就農支援事業	農業後継者育成を畜産業で図るため、就農希望者を雇用した町内の農家、農業法人等に月額10万円支給する事業	800千円	
	NPO法人 子ども支援ネットワークめばえ 活動支援金	農福連携の取り組みを支援するため、小作料の助成を行う	4千円	
	新規農家育成簡易牛舎設置事業 補助金	畜産の新規就農者へ簡易的な牛舎設置助成を行う	500千円	
	農地費		農道にあるグレーチング(鉄格子蓋)を固定型に補修	4,000千円
			脱炭素社会への取り組みとして防災や環境など、さまざまな分野において先進地として取り組むため。具体例では堆肥センター建設も含めた循環型農業の構想、計画などの業務を行う	17,490千円
			早町ため池の排水整備を行うため土地境界の測量費	1,400千円
		①クリーンセンター横、堆肥センター建設予定地の造成工事で出た土砂から、ごみの分別を行う特殊な重機や、分別された土砂を仮置きするため、仮置き場の伐採作業等に使用する重機借上げ料。 ②湾頭原の町有地に仮置きしている雑木等をチップ化するための重機借上げ料	11,000千円	
まちづくり課	道路維持費	町道整備や雑草・樹木の撤去など集落要望に対応する	5,700千円	
		①羽里集落の公民館から市山商店に下る町道 ②川嶺集落からテーブルバンタに上がる町道 損傷が著しいことや滑落が判明したため早急に整備を行う	14,000千円	
	地域住宅交付金事業費	町営住宅建設予定地、中里集落コーラル団地下のボーリング調査延長とCBR検査(路床、路盤の支持力の調査)を行う	1,250千円	
	港湾整備費	上嘉鉄漁港の照明等修繕	500千円	
	喜界町水道事業(給水管工事)	工事を令和7年までに完了する予定であったが、地下ダム建設などで今後業者が多忙になると考え、早めることで働きやすい時期に無理なく工事が行えること。また漏水がどれだけ抑えられるか検証する	25,000千円	
保健福祉課	新型コロナウイルスワクチン 対策事業費	オミクロン株に対応したワクチン接種費用	25,265千円	
	放課後児童クラブ運営事業費	喜界児童クラブに児童用の着替え室を整備する	150千円	

# 一般質問 町政のここが聞きたい

第3回定例会で5名の議員が町政全般にわたり一般質問を行いました。  
質問と答弁を要約して紹介いたします。



質問する  
幸一美 議員

## 津波警報に対する避難対応

### 質要

自然災害が多発する昨今、津波の脅威というのは一瞬にして生命財産を奪う。

津波の場合は、到達時間までの限られた時間の中で、支援者がどこまで責任を持って支援者を避難させるか大変な問題がある。特に、高齢者も含めて耳の不自由な方々には、情報無線等の受信が大きなりスクと考える。大切な町民の命を守るために、活動に奔走される支援者が犠牲にならないために、避難活動時は行政としてもしっかりとした対策の構築が必要である。

### 質問

自主防災組織の確立している地域は把握できているか伺う。

### 答弁 町長

要支援者に対する支援対策、自主防災組織については、各集落で平成20年頃から取り組んでいただ

いている。設立当初のままで形骸化することのないよう、随時、地域の実情に応じた見直しを行っている。個別避難計画の策定については、関係課、集落区長、民生委員、ケアマネージャー等、関係者で連携しながら随時取り組んでいる。

### 質問

津波警報の情報伝達について伺う。

### 答弁 町長

緊急時の情報伝達の全国的な仕組みが、Jアラートと防災無線の連動方式となっている。津波警報の際に本庁のJアラートシステムが故障中、起動しなかった事案もあった。そういった場合に即時に対応できるようなバックアップ体制はしっかりと備えておく必要がある。町民の皆さんに、エリアメールなど民間の手だても活用していただくことも含めて、いざというときに備えていただくことも重要だと思っている。

### 質問

戸別受信機（防災無線）の設置場所について伺う。

### 答弁 総務課長

防災無線について、家の造り、電波の受信状況で設置場所は変わってくる。実際にJアラートが作動して防災無線で放送する際は、

自動的にボリウムは最大で鳴るよう設定されている。音声だけではなく、サイレンも含めたお知らせで危機感の伝わりやすくなるのではないかと思っている。

### 質問

一人暮らしの方々の集合住宅の建設はどうか。

### 答弁 総務課長

単身向けの住宅については、需要の増加が確認できるため、部屋数を増やす方向で準備をしている。要支援者のみを対象とした集合住宅については、入居募集の際、一般世帯とは別に募集枠を設け、優先的に入居していただく特定目的住宅の供給が考えられる。今後建て替える住宅の1棟全ての戸数を特定目的住宅とすることは困難、不可能と思っている。

### 質問

受信機の設置場所、行政が指導出来るか伺う。

### 答弁 総務課長

設置場所の希望などは、業者との調整がある。電波の状況が悪ければ、屋外アンテナという手段はある。町民の方の御意見、意向を反映できるような体制で業者と調整している。



質問する  
土岐 和貴 議員

### 保護猫団体・地域住民・行政の三者協力で社会問題を解決

#### 質問

本町で活動している保護猫団体「にゃんだふるらいふ」は保護猫譲渡・TNRなどを目的とした、野良猫事情の改善のため活動されているが寄付金や自費での活動にも限界がある。

- ① 本町は、野良猫問題についてどのような認識でいるか。
- ② 保護猫団体等に去勢や不妊治療の手術費の一部補助はできないか。
- ③ 個人や団体の意見などを傾聴し、今後は行政との連携が必要ではないか。

#### 答弁 町民税務課長

- ① 寄せられる苦情は年間数件。車にひかれた猫の回収が大多数である。環境衛生面での問題や繁殖による増加など、町民に認識してもらったため広報紙や防災無線にて呼びかけを行っている。
- ② 今年度は県の地域猫活動等事

業補助金の申請を行った。町独自の補助制度については、野良猫の頭数、生息場所の実態把握、野良猫と飼い猫の区別をどうするのかなど、今後は財政等も考慮し協議の上、施策は検討する。

③ 家畜保健所とも連携し町民への適正な飼育飼養を呼びかけている。猫と人が共生できる地域づくりに努めたいと考えている。

### 飼い主は望んでいる「動物と安心して暮らせる日々を」

#### 質問

本町と人口が変わらない東京都八丈島には動物病院が2軒ある。

- ① 動物病院がないことで困っている町民の方々がいることは認識されているか。
- ② 本町独自の助成制度を整え、動物病院の開設や獣医獲得に向けた取り組みとUターン・Iターンを目的とした環境づくりも今後の課題ではないか。

#### 答弁 町民税務課長

- ① 今年度は動物病院に関する問合せは1件。対応はいんまや動物病院が2か月に一回出張診療を行っている。しかし避妊と去勢の手術が年々増えていて、診療する時間が取れないのが実態である。急病の場合は船等で奄美大島に行く

ケースはあると考えている。

② 離島で動物病院を開業したいという方のために判断材料となる情報発信を行っていききたい。

ただ動物病院に限定した町独自の助成制度については今のところ考えていない。

### 努力義務は「義務ではない」すべてのワクチン接種は「任意」

#### 質問

9月開始の5歳以上11歳未満のワクチン集団接種。対象となるご家庭に新型コロナウイルスワクチンコミナティの説明書等も配布。その中でメリット・デメリットを天秤にかけた時に接種を希望するほうがデメリットが大きいと不安な声をいただいている。子どもたちの未来の為に不安に思っている町民の声に耳を傾けていただきたい。

- ① 今回、対象となるご家庭に集団接種に向けて事前アンケートを実施。接種を希望・希望しない・迷っているなど、どれくらいの比率であったか。
- ② 全国のデータを分析しても重症化率が非常に低い若年層（子どもたち）に感染予防目的ではない重症化予防目的のワクチンを進める事に疑問視しているご家族もいるが、本町はどのように考えているのか。
- ③ 同調圧力に不安視されているご

家族もいる事を踏まえて、任意での取り組みがしっかり実施できるよう周知や対策を行っているか。

#### 答弁 保健福祉課長

- ① 対象者は393名、回答者は175名、回答率は44.5%。

【希望する・希望するが今は迷っている】合計82名、20.9%。

【希望しない・希望しないが今は迷っている】合計93名、23.7%である。

② ワクチン接種のメリットは重症化予防効果が挙げられる一方、副反応を心配される保護者もいる。最終的に接種を希望するか希望しないかは、それぞれの判断である。

③ ワクチン接種の実施は予約を取り、個別の時間枠を設定し、できるだけプライバシーが守れるよう配慮する。子供のワクチン接種は様々な意見があり、メリットもデメリットもある。できるだけ風評被害等がないよう配慮しながら実施する。

(厚生労働省ホームページより引用)

**新型コロナウイルスQ&A**

職場や周りの方などに接種を強制したり、接種を受けていない人に差別的な扱いをすることのないよう、皆さまにお願いしています。仮にお勤めの会社等で接種を求められても、ご本人が望まない場合には、接種しないことを選択することができます。

なお、職場におけるいじめ・嫌がらせなどに関する相談窓口は [こちら](#) を、人権相談に関する窓口は [こちら](#) をご覧ください。



質問する  
良岡 理一郎 議員

### 新型コロナウイルス対策は 宿泊療養施設の確保が急務

- 質問**
- ① 奄美医療圏において、本町だけが宿泊療養施設がない。自宅療養は感染者を増やすばかりである。県と連携して全力を挙げて施設を確保すべき。
  - ② 無料PCR検査の実態、9月以降の方針
  - ③ 4回目ワクチン接種の実績および今後の計画

**答弁** 保健福祉課長 町長

- ① 今後も宿泊療養施設の確保について県と連携して引き続き努力していく。
- ② 無料PCR検査は週3回。6月～8月の検査は868名。陽性が確認された方が49名。無料検査は9月末までだが今後も継続できるよう県に要望していく。
- ③ 4回目の接種対象者は8月末で全集落終了予定であったが、医師が来島できず一部9月に延期している。

5歳から11歳への接種は、対象者393名、接種は任意で9月中旬に2回の接種を終える計画である。

### ヤングケアラワー9月から 実態調査

**質問** 県と連携しつつ実施予定のヤングケアラワー実態調査の進捗を伺う。

**答弁** 教育長

本町の対象者は喜界小学校6年生全員の53名、喜界中学校の全校生徒167名、合計220名。所管外の喜界高校については全校生徒を対象に実施予定と聞いている。実施期間は9月1日～10月3日。回答は原則として無記名、任意。県全体の調査結果は県のホームページで公表予定、公表時期は現在未定。

### 野生シカ駆除には 解体処理施設と 報奨金の見直しを検討

**質問**

- ① 4月以降の捕獲実績と対策を伺う。現状の捕獲数では増えるばかりで抜本的対策が必要。今後は被害を金額面から抑えることも必要では。
- ② 現場での解体処理は限界、水道など備えた処理施設が必要では

ないか。

③ 1頭1万円の助成金では作業量に見合わない。意欲が持てる金額に。

**答弁** 農業振興課長

① 4月から8月で合計11頭捕獲。その内、成獣が10頭、幼獣が1頭である。例年9月以降、捕獲が急速に進む。被害額は県の算出方法による推計だが過去5年間でサトウキビが115万5,000円、かんきつ類65万円、野菜類8万5,000円、牧草で1万円である。

② 今後、解体処理施設についてはその必要性を検討する。また報奨金の単価についてもやる気が起きるような適切な価格も検討していく。

### 国葬への対応は国の動向を注視

**質問**

① 安倍元総理の逝去に際し、町長は自らの判断で2日間、半旗を掲げた。

安倍元総理が参院選挙中に銃撃されたことは、言論の自由を真つ向から否定する卑劣な行為であり断じて許されることではない。しかし、弔意を表すことと安倍元総理に対する政治的評価は全く別問題である。

町長が半旗を掲げた理由、その

法令上の根拠、従来の国の半旗要請は現職の総理が死亡した場合に限られている。町長の認識を伺う。

② 国葬には多くの国民が反対している。今後、政府や県から「強制ではない」として本町や教育委員会へ弔意の表明が求められることが予測される。地方自治法の本旨、教育基本法の政治的中立性、多数の国葬反対世論に沿って慎重な対応を求めたい。

**答弁** 町長・教育長

① 半旗を掲げた理由は純粹に弔意を表すためである。法令上の規定はない。12日の葬儀の日は、すでに土曜日、日曜日に弔意を表しており、また国や県からの通知もないため平常通りの掲揚とした。

② 今しばらく国の動向を見守りたい。

教育の中立性については教育基本法で「法律に定める学校は、特定の政党を支持し、又はこれに反対するための政治教育その他政治的活動をしてはならない」と定められている。

今後の対応については、文科省あるいは県教育委員会の動向を注視しながら町当局との連絡調整を図りながら適切に対応していく。





質問する  
米田 信也 議員

### 空港臨海公園の改修工事 早期実現を

**質問** 観光客やキャンプ客など、多くの町民が使用するスギラビーチや、隣接する多目的広場にゴミ箱を設置することができないか。

**答弁** 企画観光課長  
基本的にごみは利用者に各自持ち帰りをお願いしている。ごみ箱を設置した場合、スギラビーチの現状を考えると、マナー違反者の続出、ボランティアへの負担が一層増えるのではないかと考え、現時点での設置は厳しい。

今後は、注意喚起の取組と併せて、有志の方々の取組の輪を町内全域に広げるような施策を検討し、ごみのない美しい島を目指す。

**質問**  
スギラビーチは夏場にバーベキューなどを行う方も多くおり、バーベキューで生じた炭の処理が問題になっている。このことについて伺う。

**答弁** 企画観光課長  
利用者に持ち帰って頂く。空港臨海公園の改修事業等を利用し、ブース分け等をした際には、バーベキューコーナーの設置も検討している。その際にもう一度議論したい。

**質問**  
ビーチサイドの休憩場所周辺の草刈り、清掃が夏の海水浴シーズン前になかなか行われていない現状がある。ビーチサイドの管理の状況について伺う。

**答弁** 企画観光課長  
昨年度より年度当初の打合せにて、毎月計画的に実施している。以前よりは改善が図られている。問合せや苦情等があった際には、その都度、現場を確認して、必要に応じ管理事業者へ指示を行っている。

### スズメバチ完全駆除に向け さらなる全島調査実施へ

**質問**  
昨年初めて確認されたスズメバチの完全駆除に向けて、今後、さらなる全島調査を行う必要があると思われる。町としての見解を伺う。

**答弁** 企画観光課長  
本年3月14日から16日にかけて、

鹿児島大学、京都産業大学より3名の専門家を招致して、昨年本町で確認した営巣地点及び同種が目撃された地点を全て視察、同時にこれまで仕掛けたモニタリングトラップの状況の調査をした結果、根絶は困難との見解である。この意見を踏まえて、今後はモニタリングトラップの誘殺数調査を継続することと、啓発活動の強化を図る。

**質問**  
現在のスズメバチ駆除調査の現状を伺う。

**答弁** 企画観光課長  
昨年度までは、町から業者へ委託して、駆除作業を行っていた。今年度は、住居敷地内においては、居住者で、圃場内は農業振興課、

その他は企画観光課においてそれぞれ対応している。

また、調査の現状としては、昨年度に引き続き、有識者や農業振興課と連携を図り、モニタリングトラップによる観察調査を行っており、8月22日現在の捕獲数は約60頭。

そのうち38頭は京都産業大学等での、遺伝子分析の調査結果を行った。全ての個体が奄美由来の個体である。全て女王バチとの報告を受けている。

7月20日以降の捕獲もなく、スズメバチの特性等を踏まえると、ある程度駆除ができたと考えている。この状況を考慮して、現在は、モニタリングトラップを、62個から31個と規模を縮小して観察を行っている。



発見されたスズメバチの巣



質問する  
生島 常範 議員

### 宿泊療養施設 旧診療所整備は困難

質問

コロナ感染拡大で、宿泊療養施設が無いことに町民は不安だ。鹿児島県が契約する宿泊療養施設の現状と旧診療所の病室は活用できないか伺う。

答弁 保健福祉課長

小野津の宿泊施設、休養村管理センター、教員住宅、花良治のまぐらしハウスの計4か所準備し、8名受け入れた。今後も集落の協力を得て増やしたいが、宿泊療養施設として使える多目的施設を検討したい。診療所は老朽化と部屋にバス・トイレが無く、整備するには財源的にも難しい。

### 男女共同参画社会実現に向け 更なる広報・啓発を推進し 人材育成に努力

質問

喜界町男女共同参画基本計画

にそつて女性の活躍を進めているが、人口の半分以上は女性にも関わらず、行政や集落の委員会等の女性参加は少ない。これまでの啓発活動の検証が必要ではないか。

答弁 企画観光課長

平成27年度に策定したが、当時から家庭、職場、地域社会で男性優遇の意見が多く、阻害要因になっている。毎年開催する基礎講座への関心も薄く、啓発活動の見直しも必要。今後は要望に応じて出前講座や地域推進員による地域への啓発活動を通し人材育成に努力したい。

### 「子ども議会」は 学校の各種行事等見直しで 再開は検討せず

質問

群島内9市町村で「子ども議会」等が開催されている。本町も以前実施していたが、小中高校生を対象に「若者議会」として再開できないか伺う。

答弁 教育長

「子ども議会」は本町でも平成30年度まで小中学生を対象に実施していたが、伝統文化継承等特色有る教育に取り組むため、教育活動全般を見直した結果削減した。

### 独居高齢者の熱中症対策は 個別の見守り活動で情報収集し 検討

質問

8月末現在、熱中症による救急搬送件数は昨年の2倍近い10件。兵庫県加古川市が今年6月から施行したエアコン購入への助成制度を参考に本町でも独居高齢者向けに検討できないか伺う。

答弁 保健福祉課長

熱中症予防について広報誌や防災無線、長寿者学級等でも呼びかけている。経済的にエアコン設置困難な方へは社協の「家電製品中継事業」等を案内しているが、先ずは民生委員、区長、協力員から上がってきた個別訪問の内容を暮らしサポートセンターで検討して何が必要か検討したい。

### 畜産農家の粗飼料自給率向上は 牧草の収量拡大と作付面積拡大 を支援

質問

肥料・飼料高騰、子牛価格低迷で畜産農家の経営を圧迫している。他の島々同様「農畜連携」で飼料自給率向上を目指せないか伺う。

答弁 農業振興課長

飼料の自給率向上を目的に牧草

の種の購入費助成や遊休農地等の活用を促進するため飼料畑の造成、牧草の作付面積の拡大を進めている。砂糖キビの裏作利用については、畜産農家、キビ農家双方のメリットが必要で意見を聞きながら進めていければと思う。

### ジオパーク登録の観点から 保全すべき泉の選定は予算等を 考慮

質問

喜界島には小さな泉が多く、私達の祖先はそこを拠点に村建てをし、文化を繋いできた。

泉のある集落は高齢化し子どもや若者が少ない。ジオパーク登録を目指す本町としても泉は価値ある財産だと思うが、一定の制限を設けて泉周辺整備支援ができないか伺う。

答弁 企画観光課

ジオパーク登録の観点から、その地域を理解する上で重要な場所を保全する事が求められている。その視点から保全すべき場所と考えられるが、具体的に保全すべき場所については、いくつかの項目や予算等を考慮したうえで選定していく。選定された場所には解説板を設置する等整備が必要となってくる。

## ◆ 条例案件報告 ◆

(議長は採決に含まず)

議案	内容	賛成	反対	採決
議案第38号	<p><b>喜界町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について</b></p> <p>妊娠、出産、育児等の両立支援の為に講じる措置について、育児休業法改正に伴い条例を改正するもの。</p> <p>育児休業の取得回数制限緩和、育児参加の為に休暇の対象期間拡大について、必要な規定を整備するもの。</p> <p>「産後パパ育休制度」が導入され、出生後8週間以内に4週間迄取得が可能となり、育児休暇取得が分割して取れるようになるもの。</p> <p>令和4年10月1日より施行する</p>	11	0	原案可決

### 議会のうごき (9月~11月)

- 10月13日(木) …………… 常任委員長研修会 (鹿児島市)
- 11月 1日(火) …………… 議会広報研修会 (鹿児島市)
- 11月 8日(火) …………… 離島議長全国大会 (東京)
- 11月 9日(水) …………… 議長全国大会 (東京)

**ご案内** 次の議会は、12月上旬を予定しています。

午前9時30分 開会 皆様の傍聴をお待ちしています。

また、喜界町ホームページでは、議会開会中の様子をインターネット中継でご覧いただけます。  
(動画配信サイトで「喜界町議会定例会」を検索していただき、録画もご覧いただくことができます。)

お問合せ 喜界町議会事務局 電話 65-1115

読者の声

喜界島で願うこと

萩尾 菜々子 28歳(湾)

1994年、わたしは喜界徳洲会病院で産まれた。18年間を喜界島で過ごし、その後東京、福岡と島を離れて生活をしてきた。そして、2021年、福岡生まれ福岡育ちの夫の熱い思いにより、再び喜界島で生活することになった。

「島に帰ったら、島の良さをYoutubeで発信していきたいんだよね」と夫に言われ、百の台への行き方も曖昧な私が、微力ながらも世の中に喜界島の事を発信することになった。

この1年間で、色んなところに撮影に行き、本当に新しい発見ばかりだった。綺麗な空と海があつて、みんなが温かく気にかけてくれる。スーパもあるし、美味しいご飯屋さんもある。美味しいスイーツもコーヒーマも飲めて、好きな音楽だって楽しめる。島は不便だと言われるけども、意外と豊かな生活をしてると気付いた。

今の生活にそれほど不満はないが、たったひとつ、私には願望がある。喜界島で赤ちゃんを産みたい！ということだ。

私の同年代の友達は、約7割が島外で産まれている。島外での出産となると、遅くとも一ヶ月前には喜界島を離れ、出産するまでの間、宿泊施設で過ごし、出産を迎える。ただ、喜界島で出産がしたいと言っても、そう簡単にはいかないというのも分かっている。若い人たちが島に住んでくれるように、そしていつかまた喜界島で出産するために、私に出来ることはなんだろう。難しいことはわからないけど、私たちが楽しく毎日を過ごすことなのかな、と思う。そして、これからもその日常を発信し、伝えていこう。

「島だから出来ない」を無くしたい。そう切に願っている。



YouTubeチャンネル『しまっちゅらいふ』

編集後記

人それぞれ信じる事があり信じた事がある。批判だけでは何も生まれない。

分断を交錯するため、あらゆる情報が飛び交う世の中。

これからの時代をどう生きていくか。

あらゆる情報には誘導や分断統治など畏がしかけられていると認識し、すべてを鵜呑みにせず自分自身で情報を精査していく事が現社会で生きていくためには重要だと考える。

【目指す議会／委員会】

相手の言いたい事にも耳を傾けお互いを認め合う気持ち、正しいところは正しい、間違いは間違いだと素直に認められる議論ができる議会や委員会になつていくことを強く望んでいる。

文責 土岐和貴



喜界町議会広報委員会

委員長 良岡理一郎

副委員長 倉橋博都

委員 野間弘也

生島常範

米田信也

土岐和貴